

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>	-		<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.3</b>
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	共用部:エントランスホール2.5%以上、住居部:居室1.25%以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.4</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.2</b>
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策			-		-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-	
2 喫煙の制御	全館禁煙として、外部にも喫煙所を設けない	5.0	1.00		-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>1.4</b>	1.00	<b>1.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	1.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	1.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
3 衛生管理業務			-		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	居室:床長尺塩ビシート2.0、壁ビニロ(PBt9.5)、天井ビニロ(PBt9.5)	5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.7	0.30	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.2	0.30	2.2	0.50	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:共用部・2F0.1以上0.3未満、住居部・居室0.1以上0.3未満	1.0	0.60	1.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	4.0	0.40	
3.3 設備の更新性				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1			空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2			給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3			電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4			通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5			設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6			バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI <sub>m</sub> =0.81	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.76	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI <sub>m</sub> =0.76及びLED照明設備を採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			磁器質タイル(床)、再生砕石(路盤)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上げのディール及びOA707-を採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3			冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			LCGO2排出率=80%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1			雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2			汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3			交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1			騒音	3.0	1.00	-	-	
2			振動	-	-	-	-	
3			悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1			風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2			砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3			日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
2			昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	